

## 第38回プロテオーム医療創薬研究会

【実施日】 2012年6月5日（火）18:00～19:30

【開 場】 横浜市立大学 福浦キャンパス D2 講義室

【来場者】 人数：80名

### 【内 容】

エーザイ株式会社より塚原克平先生(横浜市立大学免疫学客員教授)を講師として招き、「想薬、聡薬、創薬」の演題で講演していただいた。

ひとつの薬を開発するには10年以上の歳月がかかる。薬を開発する(創薬)するためには、どのような薬を世に送り届けたいかという想い(想薬)が大切であり、かつ実現するための聡い知恵と手段が必要である(聡薬)。そのためには、疾患を正しく理解すること、正しいターゲットを選択すること、新技術を最大限に活用すること、薬の作用が論理的に明確であること、ヒトに対して有効かつ安全であることなどが、開発の要件として求められる。講演では創薬の成功例や失敗例、化合物ライブラリーのスクリーニングの実際、リード化合物、リード化合物から臨床試験への各段階、大学と製薬企業の目的や役割のちがいがわかりやすく解説された。大学と製薬企業が連携すれば、革新的創薬へと繋がる可能性がある。

